

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年7月31日

事業所名:ミリミリ品川

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点	改善内容又は改善目標
環境・ 体制・ 整備	①	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	4	1	活動内容によって、配置替えしながら工夫している。	整理整頓に心がけ安全に活動ができるよう空間づくりに努める。
	②	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	4	1	3	1		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	3	0	全てではないが、利用する場所等には絵でわかりやすく提示している。	利用者にあった空間や提示の仕方を考慮、環境づくりに努める。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	2	0		
	⑤	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	4	1	みんなで振り返りができない状況でも繰り返し提示し共用できるようにしている。	ミーティングに参加が難しいスタッフには事前に意見等を聞いて共用できるように努める。係の総括を出して課題、改善を次年度の目標におき実施している。
業務 改善	⑥	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	2	2		保護者からあがった意見に対しスタッフ間で共用し実施できるよう努めていく。
	⑦	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	1	4		ホームページに公開している。
	⑧	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	2	5		
	⑨	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	1	5	外部研修など提示するようにしているが、各個人の状況にまかせている。	事業所内、法人全体での勉強会に強化している。研修に参加できるようお知らせや勤務調整を行う。
	⑩	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	2	0		
適切な 支援の 提供	⑪	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	1	0		
	⑫	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	0	4		
	⑬	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	1	2		
	⑭	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	1	0		
	⑮	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	0	2		情報収集し利用児にあったプログラムを提供できるよう努める。
	⑯	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	1	2		
	⑰	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	2	1		
	⑱	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	1	1		
	⑲	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	0	2		
	⑳	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	4	1	出勤時間が違うため、その日勤務スタッフとの合わせたミーティングは難しい。	変更等ある場合は、口頭で伝える。個々が必ず情報等を確認する。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年7月31日

事業所名:ミリミリ品川

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点	改善内容又は改善目標	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	4	2	退社時間が合わないため、残っているスタッフでの振り返りをしている。	共用が必要なことは、必ず伝えるか提示している。	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	2	0	日々の記録は取り、それぞれの担当利用者については、3ヶ月ごとにまとめている。	まとめたものをミーティング等で検証、課題を挙げ支援に努める。	
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	1	1			
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	3	4	現時点での会議の場はない。		
	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	2	5			
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	2	5			
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	0	1	7	就学前の教育相談等の情報共有		
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	0	2	5	療育センター等の支援を家族から情報得て支援に繋げている。		
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	2	1	設定での交流は実施できていないが、公園などで保育園児と声を掛け合ったり、遊んだりすることはある。		
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	1	1	利用時の連絡帳や送迎時に状況の共有や必要に応じては、個別に場を設けている。		
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加ができる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	2	1	今年度より懇親会を年1回以上開催。	必要に応じては、個別に場を設ける。	
	保護者への説明責任等	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	1	3		
		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	1	2		
個人情報の取扱いに十分注意している		9	0	0	0			
障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		9	0	0	0			
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	2	1	4			
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		7	0	2	0			
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		7	0	2	0			
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		7	0	2	0			
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		8	0	1	0			
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		6	1	1	1			
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	0	1				
業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	0	1				

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年7月31日

事業所名:ミリミリ品川

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点	改善内容又は改善目標
非常時の対応	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	2	0		
	48 食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	1	0		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	0	1		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	2	0		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	0	1		
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	0	1		
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	0	4		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。